

# 卑懷集（基綱）

里螢 内裏着到百首

ほたるとぶときはの里の椎柴の

かれぬ思ひももえやそふらん

水無瀬御廟法樂

行く水にうきておもひのみゆるかな

たつ河霧にあらぬほたるも

文正百首

終夜もゆるほたるよおのが身に

なにばかりなるおもひあるらん

右府信量公水無瀬御廟法樂

蛩とぶ木の下やみの草むらに

もりこぬ月をやどす露かな

ふじのねにたてぬおもひもあらはれて

もえつつとはにとぶほたるかな

「国歌大観」より